



SDGs

REGISTERED PARTNER
NAGANO PREFECTURAL
GOVERNMENT

環境経営レポート

活動期間：2024年4月～2025年3月

作成日：2025年8月15日

改訂日：2025年9月15日

目 次

1 組織の概要	P-1
2 対象範囲	P-2
3 環境経営方針	P-3
4 環境経営目標	P-4
5 環境経営計画	P-5~6
6 環境経営目標の達成状況及び評価	P-7~10
7 環境経営計画の実施状況及び評価	P-11
8 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無	P-12
9 代表者による全体評価と見直しの結果	P-13

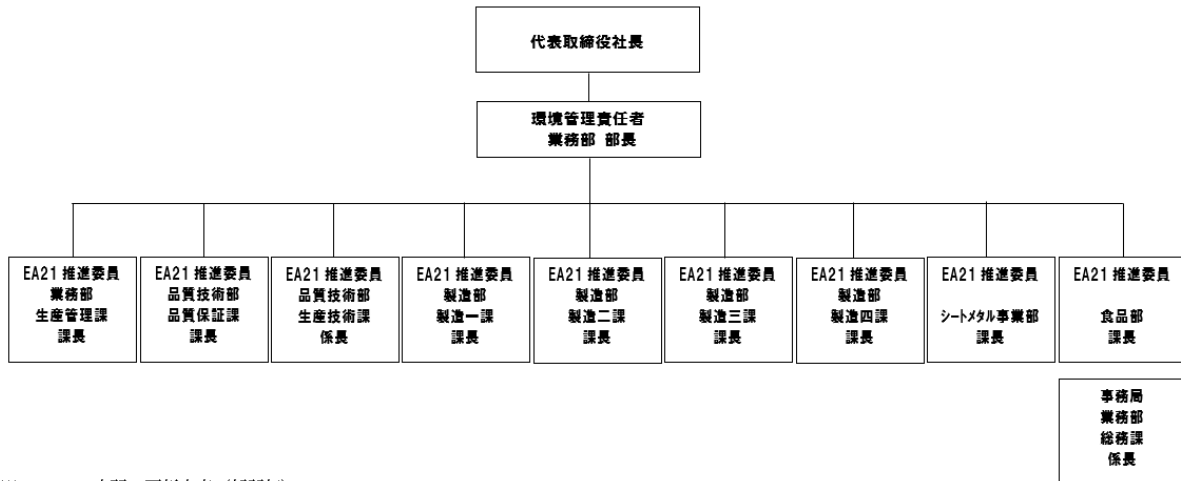
1. 組織の概要

☐ 会社概要

事業所名	株式会社 マスタ
代表者名	代表取締役社長 増田 博
所在地	
◆本社・工場	〒399-4301 長野県上伊那郡宮田村 6689-1
◆西工場	TEL 0265(85)2086 FAX 0265(85)4277
◆第二製造部シートメタル課	
◆業務部 宮田とうふ工房(工場)	〒399-4301 長野県上伊那郡宮田村 6638-3
◆業務部 宮田とうふ工房(分)	TEL 0265(84)1102 FAX 0265(85)2411
事業内容	医療機器・光学機器・空気油圧機器等の部品加工と組立。 精密部品加工用治工具・一般製造組立。 パイプ曲げ・銀ろう付加工。
	シートメタル課 …… パンチ・レーザー複合機・曲げ・溶接加工。
	宮田とうふ工房……… 地元産大豆使用食品製造・販売。
資本金	1,500万円
述べ床面積	8,327.84 m ²
従業員数	268人
環境管理責任者	業務部 部長 井上 大助

2. 対象範囲

□ 実施体制



※ EA21 の中間・更新審査 (部門毎)

	役割・責任・権限
代表者(社長)	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営に関する統括責任 環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間等経営資源を準備 環境管理責任者を任命 環境経営方針の策定・見直し 環境経営目標・環境経営計画書を承認 代表者による全体の評価と見直し、指示 環境経営レポートの承認
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営システムの構築、実施、管理 環境関連法規等の取りまとめ表を承認 環境経営目標・環境経営計画書を確認 環境活動の取組結果を代表者へ報告 環境経営レポートの確認
環境事務局	<ul style="list-style-type: none"> 環境管理責任者の補佐、環境推進委員会の事務局 環境負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施 環境経営目標、環境経営計画書原案の作成 環境活動の実績集計 環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理 環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 環境関連の外部コミュニケーションの窓口 環境経営レポートの作成、公開(事務所に備え付けと地域事務局への送付)
環境推進委員会	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営計画の審議 環境活動実績の確認・評価 自部門における環境経営方針の周知 自部門の従業員に対する教育訓練の実施 自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告 自部門に必要な手順書の作成及び手順書による実施 自部門の想定される事故及び緊急事態への対応のための手順書作成 試行・訓練を実施、記録の作成 自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施 環境に関する内部監査の計画 環境に関する内部監査の実施・報告
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> 環境方針の理解と環境への取組の重要性を自覚 決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

3. 環境経営方針

環境経営方針

株式会社マスダは、精密部品の製造・組立、及び大豆食品の製造販売にあたり、大気汚染・省エネルギー・廃棄物の低減を重点とした、環境保全に取り組んで参ります。

また、自然環境に優れたこの地域の模範となるべく、社員一人一人が環境に対しての意識を高め、地域の環境改善、環境に配慮した生産に取り組めます。

1. 環境関連の法令、政令、条例を遵守し、環境保全に努めます。
2. 省エネルギー、廃棄物の低減及びリサイクルに取り組み、環境に配慮した生産に取り組めます。
3. 汚染の防止に努め、地域の環境に配慮します。
4. 会社全体にて取り組んでいる5S(整理・整頓・清掃・清潔・躰)を継続し、より良い環境での生産に努めます。
5. 環境経営方針に基づき、環境経営目標を定め、環境経営計画に沿って活動します。また、定期的に見直しを実施します。
6. 環境経営方針を全従業員に周知させ、環境教育を実施し、環境保全に対する意識の向上に努めます。

2018年4月1日
株式会社マスダ
代表取締役社長 増田 博

4. 環境経営目標

□ 2023年度実績（基準値）

	単 位	実 績 値
二酸化炭素(CO ₂)排出量	kg-CO ₂ /1,000万円	5,194.97
廃棄物排出量	kg/1,000万円	精密部品部門 55.34
		食品部門 20.35
水資源投入量	m ³ /1,000万円	34.47
食品廃棄物再生利用等の実施率	%	89.1
化学物質使用量	kg/年	760.27
グリーン購入 【県内産原料商品の販促】	売上金額/月 達成率(%)	95.23
製品・サービス 【工程内不良率】	個/月 達成率(%)	63.49

□ 2024年度～2026年度目標（短期、中長期目標）

		今年度目標		
	単 位	2024 年度目標 (基準値に対し1%削減)	2025 年度目標 (基準値に対し2%削減)	2026 年度目標 (基準値に対し3%削減)
二酸化炭素(CO ₂)排出量削減	kg-CO ₂ /1,000万円	5,143.02	5,091.07	5,039.12
廃棄物排出量削減	kg/1,000万円	74.94	74.18	73.42
水資源投入量削減	m ³ /1,000万円	34.13	33.78	33.44
食品廃棄物再生利用等実施率	%	90.0	90.9	91.8
化学物質使用量削減	kg/年	752.67	745.14	737.68
	単 位	2024 年度目標	2025 年度目標	2026 年度目標
グリーン購入 【県内産原材料商品の販促】	売上金額/月 達成率(%)	100	100	100
	単 位	2024 年度目標	2025 年度目標	2026 年度目標
製品・サービス 【工程内不良率】	個/月 達成率(%)	100	100	100

5. 環境経営計画

業務部

2024 年度活動内容/目標	具体的施策・維持活動	管理資料	日程計画											
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
<廃棄物排出量削減>														
ゴミ分別の徹底	現状の維持管理		維持活動	→→→										
紙使用量の削減	現状の維持管理		維持活動	→→→										
<CO ₂ 排出量削減>														
冷暖房の温度設定管理	現状の維持管理		維持活動	→→→										
休憩、不使用時の照明消灯	現状の維持管理		維持活動	→→→										
※ 方針展開計画による		方針展開計画書	別紙による	→→→										
<水資源投入量削減>														
上水道・井水の使用量削減	現状の維持管理		維持活動	→→→										
<化学物質使用量削減>														
使用物質調査、使用量の把握、管理の確認	月1回、使用物質調査、使用量の把握、管理の確認													
<グリーン購入・製品サービス>														
出荷・物流の不具合防止	チーム方針展開書による	方針展開計画書	別紙による	→→→										

環境内部監査

来期活動計画の見直し

品質技術部

2024 年度活動内容/目標	具体的施策・維持活動	管理資料	日程計画											
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
<廃棄物排出量削減>														
ゴミ分別の徹底	ゴミ箱の状況確認・社員への周知		維持活動	→→→										
紙使用量の削減	両面使用(裏紙)の推進・情報のメール伝達		維持活動	→→→										
<CO ₂ 排出量削減>														
冷暖房の温度設定管理	室温基準で温度管理		維持活動	→→→										
休憩、不使用時の照明消灯	見回り・社員への呼びかけ		維持活動	→→→										
停車時のアイドリングストップ	表示箇所のチェック・呼びかけ		維持活動	→→→										
※ 方針展開計画による	個人目標の設定と達成	方針展開計画書	別紙による	→→→										
	不具合品の問題提起と確認	方針展開計画書	別紙による	→→→										
<水資源投入量削減>														
上水道・井水の使用量削減	表示箇所のチェック・呼びかけ		維持活動	→→→										
<化学物質使用量削減>														
使用物質調査、使用量の把握、管理の確認	月1回、使用物質調査、使用量の把握、管理の確認													
<グリーン購入・製品サービス>														
不具合発生時の情報出し	不具合箇所の情報出し、波及等のフォロー	方針展開計画書	別紙による	→→→										

環境内部監査

来期活動計画の見直し

製造部

2024 年度活動内容/目標	具体的施策・維持活動	管理資料	日程計画											
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
<廃棄物排出量削減>														
ゴミ分別の徹底	朝礼等での周知		維持活動	→→→										
紙の使用量削減	コピー用紙両面使用		維持活動	→→→										
<CO ₂ 排出量削減>														
冷暖房の温度設定管理	暖房22℃(室温基準で管理表示)		維持活動	→→→										
休憩、不使用時の照明消灯	節電表示箇所チェック、周知		維持活動	→→→										
夜間作業時、作業場所の照明消灯	節電表示箇所チェック、夜間作業者への周知		維持活動	→→→										
※ 方針展開計画による		方針展開計画書	別紙による	→→→										
<水資源投入量削減>														
上水道・井水の使用削減	節水表示箇所のチェック、周知 手洗い時の水垂れ流し防止の呼びかけ		維持活動	→→→										
<化学物質使用量削減>														
ホワイトガンolin使用量の削減	リサイクル品の利用促進 使用後は揮発を防ぐ蓋をする													
<グリーン購入・製品サービス>														
クレーム件数0件 不良率削減	品質の各チーム目標に準ずる	方針展開計画書	別紙による	→→→										

環境内部監査

来期活動計画の見直し

シートメタル課

2024 年度活動内容/目標	具体的施策・維持活動	管理資料	日程計画											
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
<廃棄物排出量削減>														
ゴミ分別の徹底	表示・朝礼等での周知・指導		維持活動	→	→									
紙の使用量削減	コピー用紙両面使用		維持活動	→	→									
リサイクル出来ない金属の削減	端材・スクラップゴミの徹底		維持活動	→	→									
<CO ₂ 排出量削減>														
冷暖房の温度設定管理	暖房22℃(室温基準で管理表示)		維持活動	→	→									
休憩・不使用時の照明消灯	節電表示箇所チェック、周知(不使用時消灯)		維持活動	→	→									
納品・外回りの集約化・見直し	納品先等への配車・順番等、都度打合せ		維持活動	→	→									
運転時の急ブレーキ、急発進防止	車両等への表示チェック、周知		維持活動	→	→									
停車時のアイドリングストップ	車内等への表示チェック、周知 外注等への周知		維持活動	→	→									
※ 方針展開計画による		方針展開計画書												
<水資源投入量削減>														
上水道・井水の使用量削減	水場の節水表示チェック、周知		維持活動	→	→									
<化学物質使用量削減>														
灯油使用量の削減	暖房器具のフィルター清掃・温度管理の徹底													
<グリーン購入・製品サービス>														
顧客クレーム0件	品質の各チーム目標に準ずる	方針展開計画書	別紙による	→	→									

環境内部監査

来期活動計画の見直し

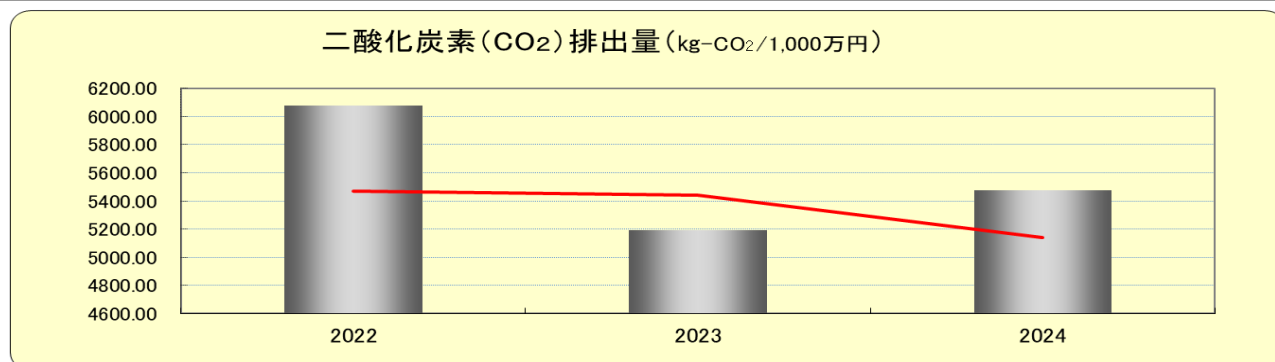
食品部

2024 年度活動内容/目標	具体的施策・維持活動	管理資料	日程計画											
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
<廃棄物排出量削減>														
ゴミ分別の徹底	ミーティング等での周知		維持活動	→	→									
紙の使用量削減	コピー用紙の両面使用		維持活動	→	→									
二次加工品の試作・商品化	惣菜アイテムの種類を増やす													
<CO ₂ 排出量削減>														
冷暖房の温度設定管理	暖房22℃(室温基準で管理)		維持活動	→	→									
休憩・不使用時の照明消灯	節電表示・周知		維持活動	→	→									
運転時の急ブレーキ、急発進防止	車両等への表示・周知		維持活動	→	→									
停車時のアイドリングストップ	車両等への表示・周知		維持活動	→	→									
製造工程改善による電気使用量削減	改善可能なアイテムの策定と工程の見直し													
<水資源投入量削減>														
上水道・井水の使用量削減	節水表示・周知		維持活動	→	→									
<食品廃棄物再生利用等実施率>※食品部のみ														
おから返品商品の肥料・飼料化														
乾燥おからの生成														
二次加工品の試作・商品化	惣菜アイテムの種類を増やす													
<化学物質使用量削減>														
灯油使用量の削減	ボイラー稼働時間の管理・暖房の温度調整													
<グリーン購入・製品サービス>														
県内産原料商品の販促														

環境内部監査

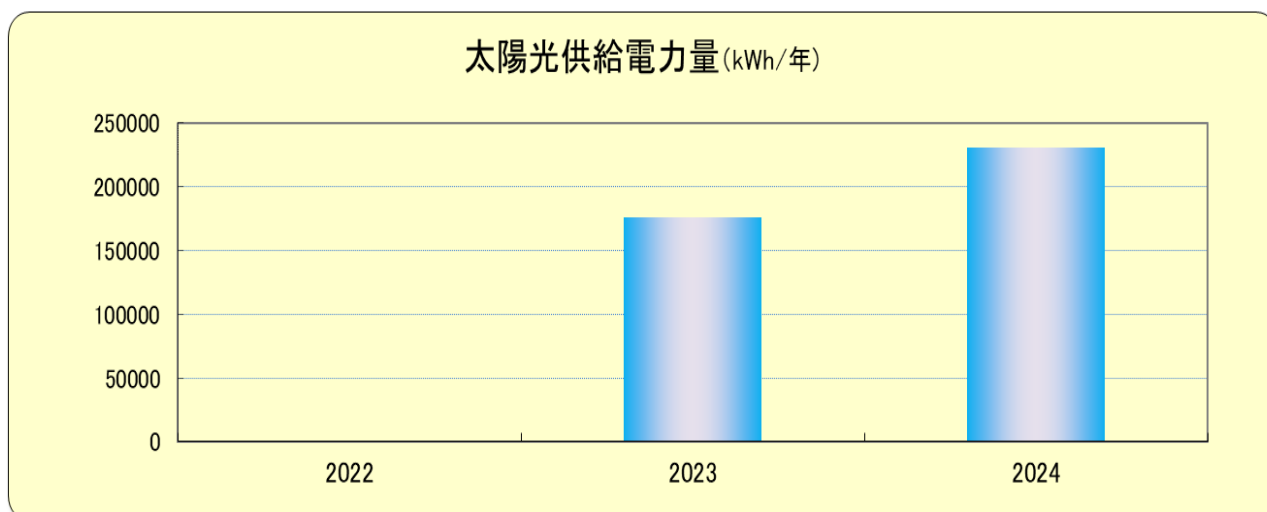
来期活動計画の見直し

6. 環境経営目標の達成状況及び評価



◇ 二酸化炭素(CO₂)排出量 ◇ 購入電力(中部電力)調整後排出係数 0.480 (kg-CO₂/kWh)

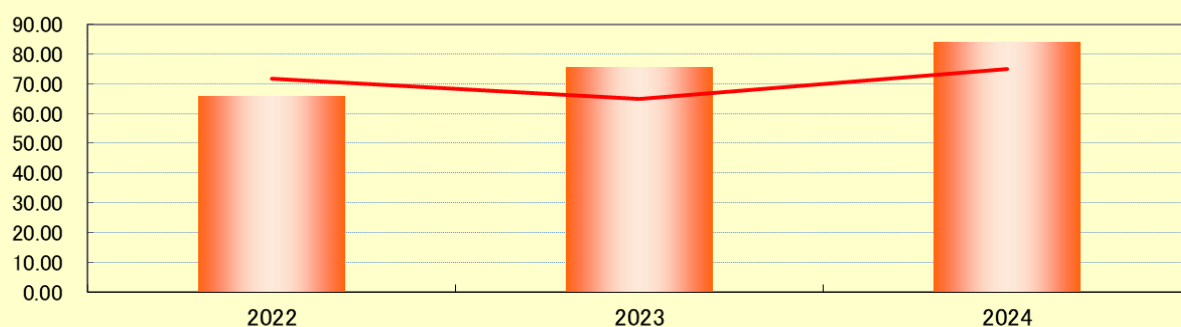
	2022年	2023年	2024年
目標値	5,467.37	5,443.54	5,143.02
実績値	6,075.80	5,194.97	5,476.02
総排出量	2,035,477.47	1,917,853.22	1,856,109.59
達成率	90.00%	104.80%	93.90%



◇ 太陽光発電供給電力量 ◇

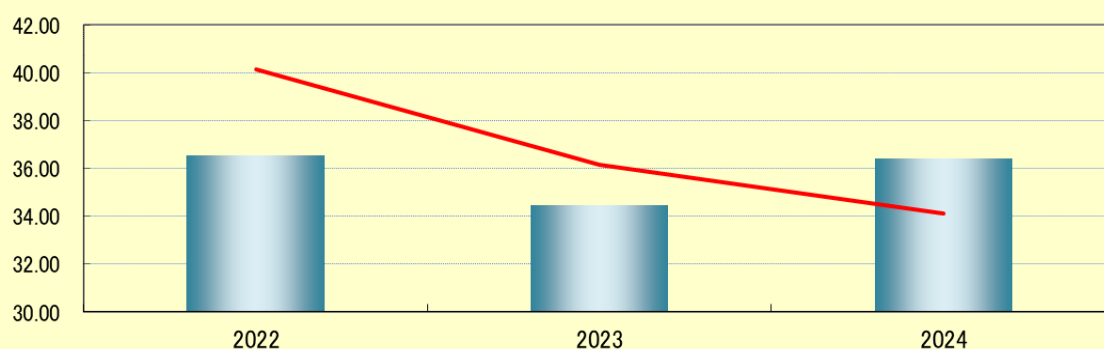
	2022年	2023年	2024年
実績値		175,520	230,350

廃棄物排出量 (kg/1,000万円)



◇ 廃棄物排出量 ◇

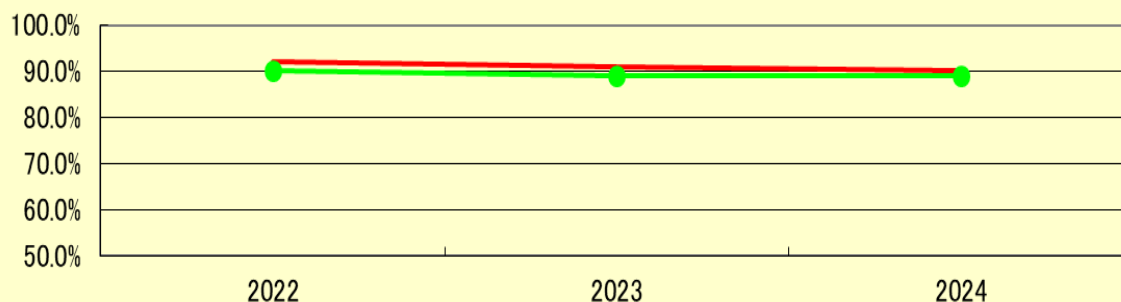
	2022年	2023年	2024年
目標値	71.59	65.04	74.94
実績値 精密部門	45.05	55.34	62.25
実績値 食品部門	20.65	20.35	21.64
全社合計	65.70	75.69	83.89
総排出量 精密部門	25,898.2	30,503.7	26,848.3
総排出量 食品部門	6,918.7	8,304.3	8,878.29
全社合計	33,274.6	38,808.0	35,726.59
達成率	109.0%	85.9%	89.3%

水資源投入量 (m³/1,000万円)

◇ 水資源投入量 ◇

	2022年	2023年	2024年
目標値	40.14	36.18	34.13
実績値	36.54	34.47	36.41
総投入量	12,246.00	12,726.40	12,343.2
達成率	109.8%	105.0%	93.74%

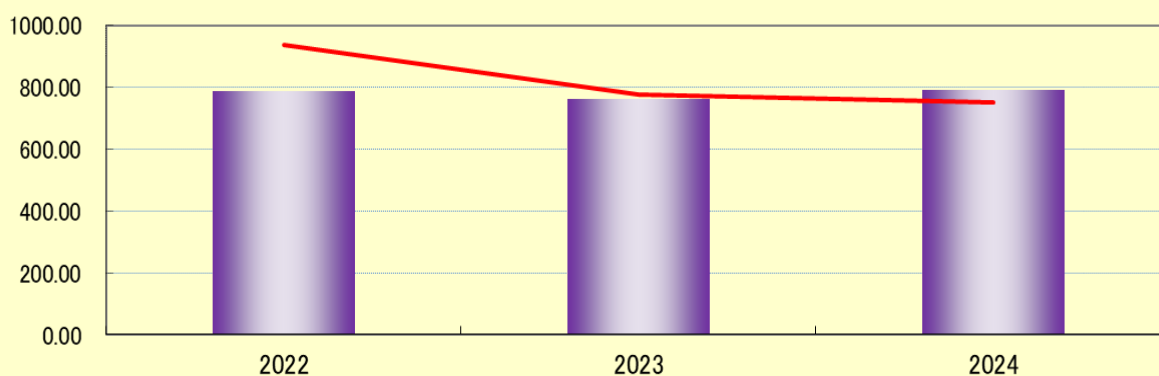
食品廃棄物再生利用等実施率(食品リサイクル率)



◇ 食品廃棄物再生利用等の実施率 ◇

	2022年	2023年	2024年
目標値	92.1	91.0	90.0
実績値	90.1	89.1	89.0
達成率	97.8%	97.9%	98.9%
発生量(t)	68.3	69.0	64.8
発生抑制量(t)			
再生利用量(t)	61.5	61.5	56.1
熱回収量(t)			
減量量(t)			1.6
再生利用料等以外の量(t)			
廃棄物としての処分量(t)	6.9	7.5	7.1

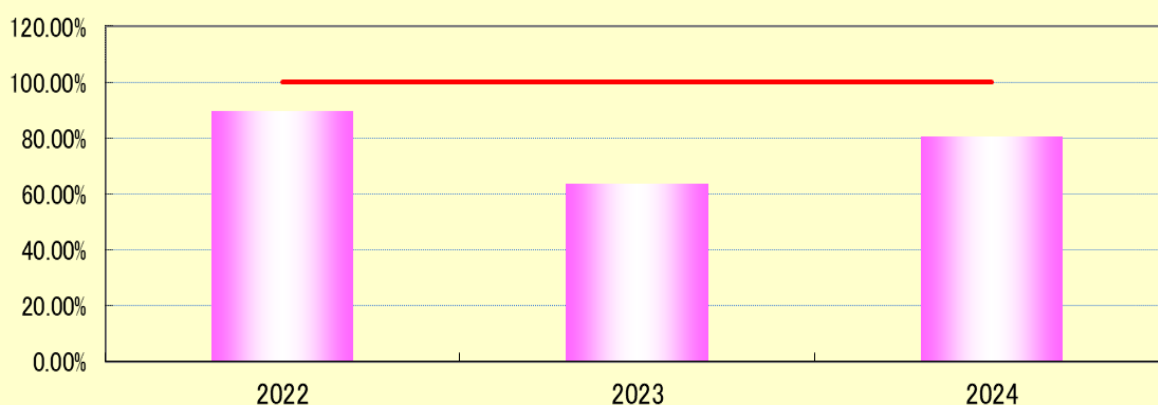
化学物質使用量削減(kg/年)



◇ 化学物質使用量削減 ◇

	2022年	2023年	2024年
目標値	937.01	776.82	752.67
実績値	786.47	760.27	792.30
達成率	119.1%	102.2%	95.0%

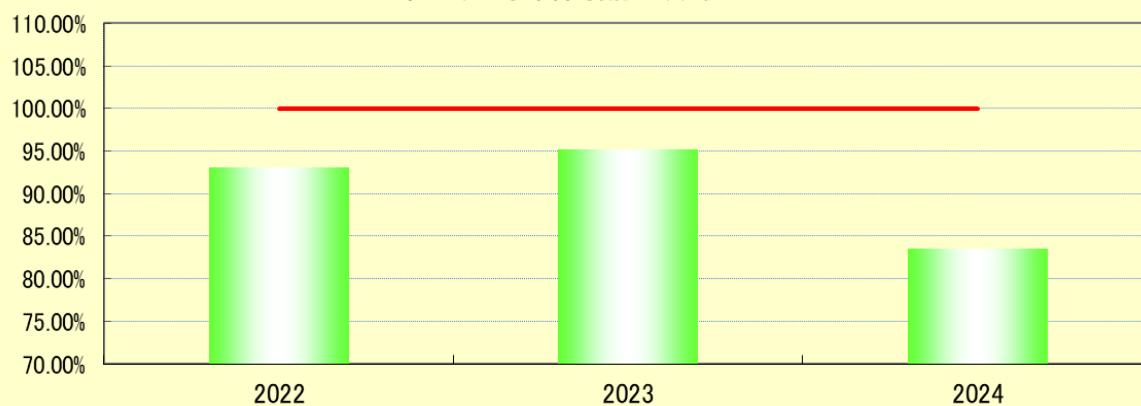
工程内不良率(個数/年)



◇ 製品サービス【工程内不良率】◇

	2022年	2023年	2024年
目標値	100%		
達成率	89.69%	63.49%	80.65%

県内産原料商品の販促(売上金額/年)



◇ グリーン購入【県内産原料商品の販促】◇

	2022年	2023年	2024年
目標値	100%		
達成率	93.03%	95.23%	83.49%

7. 環境経営計画の実施状況及び評価

業務部

2024	年度活動内容/目標	具体的施策・維持活動	実施状況
	<廃棄物排出量削減>		
	ゴミ分別の徹底	現状の維持管理	○
	紙使用量の削減	現状の維持管理	○
	<CO ₂ 排出量削減>		
	冷暖房の温度設定管理	現状の維持管理	○
	休憩・不使用時の照明消灯	現状の維持管理	○
	※ 方針展開計画による		方針展開計画書
	<水資源投入量削減>		
	上水道・井水の使用量削減	現状の維持管理	○
	<化学物質使用量削減>		
	使用物質調査、使用量の把握、管理の確認	月1回、使用物質調査、使用量の把握、管理の確認	○
	<グリーン購入・製品サービス>		
	出荷・物流の不具合防止	チーム方針展開書による	方針展開計画書

評価	本年度は、製造リードタイム短縮（1.34日、16百万）、組立部品およびMO納入品の基準在庫見直し（計28百万）、ロットサイズ変更（4百万）などの施策により、合計48百万の在庫削減効果を実現し、材料出庫についても来期5月の運用開始に向けて準備を進める。
次年度の取組内容	滞留品が発生しにくい生産体制の構築を目指し、5月から新たな運用を開始して改善を重ねるとともに、これまで未実施だった材料庫の5S活動にも着手。

品質技術部

2024	年度活動内容/目標	具体的施策・維持活動	実施状況
	<廃棄物排出量削減>		
	ゴミ分別の徹底	ゴミ箱の状況確認・社員への周知	○
	紙使用量の削減	両面使用(裏紙)の推進・情報のメール伝達	○
	<CO ₂ 排出量削減>		
	冷暖房の温度設定管理	室温基準で温度管理	○
	休憩・不使用時の照明消灯	見回り・社員への呼びかけ	○
	停車時のアイドルストップ	表示箇所のチェック・呼びかけ	○
	※ 方針展開計画による		方針展開計画書
	<水資源投入量削減>		
	上水道・井水の使用量削減	表示箇所のチェック・呼びかけ	○
	<化学物質使用量削減>		
	使用物質調査、使用量の把握、管理の確認	月1回、使用物質調査、使用量の把握、管理の確認	○
	<グリーン購入・製品サービス>		
	不具合発生時の情報出し	不具合箇所の情報出し、波及等のフォロー	方針展開計画書

評価	目標達成に向けて、データ転送システムの作成を中心に積極的な改善活動を実施。年間目標件数120件に対し、改善効果の高い案件を優先的に対応した結果、累計138件を達成し、目標比で約15%の上振れを記録。個人目標に対する作成件数の管理も徹底し、継続的な成果創出に貢献した。これらの取り組みにより、業務効率化と品質向上の両面で高い効果を上げた。
次年度の取組内容	ISO13485認証取得に向けた計画を本格的に始動。品質マネジメント体制の強化と、医療機器分野での信頼性向上を目指し、社内体制の整備および必要な文書作成・プロセス改善に着手。

製造部

2024	年度活動内容/目標	具体的施策・維持活動	実施状況
	<廃棄物排出量削減>		
	ゴミ分別の徹底	朝礼等での周知	○
	紙の使用量削減	コピー用紙両面使用	○
	<CO ₂ 排出量削減>		
	冷暖房の温度設定管理	暖房22℃(室温基準で管理表示)	○
	休憩・不使用時の照明消灯	節電表示箇所チェック、周知	○
	夜間作業時、作業場所の照明消灯	節電表示箇所チェック、夜間作業者への周知	○
	※ 方針展開計画による		方針展開計画書
	<水資源投入量削減>		
	上水道・井水の使用削減	節水表示箇所のチェック、周知	○
	<化学物質使用量削減>		
	ホワイトガソリン使用量の削減	リサイクル品の利用促進	○
		使用後は揮発を防ぐ蓋をさする	○
	<グリーン購入・製品サービス>		
	クレーム件数0件	品質の各チーム目標に準ずる	方針展開計画書
	不良率削減		

評価	通期の品質評価として、LNCは工程内不良率目標0.09%以下に対し、年平均で0.047%と大幅に目標を下回る優秀な成果を収めた。東Fは年間平均で目標を概ね達成し、安定した品質を維持した。4課は流出不良が極めて少なく、非常に優れた成果を挙げており、品質向上が年々進んでいる点も高く評価される。
次年度の取組内容	前年度比25%の総合パフォーマンス改善を目指し、加工機・人手の両面で生産効率の向上を図るため、新たな行動に果敢にチャレンジし、具体的施策を行動レベルまで落とし込んでやり抜く

シートメタル課

2024	年度活動内容/目標	具体的施策・維持活動	実施状況
	<廃棄物排出量削減>		
	ゴミ分別の徹底	表示・朝礼等での周知・指導	○
	紙の使用量削減	コピー用紙両面使用	○
	リサイクル出来ない金属の削減	端材・スクラップゴミの徹底	○
	<CO ₂ 排出量削減>		
	冷暖房の温度設定管理	暖房22℃(室温基準で管理表示)	○
	休憩・不使用時の照明消灯	節電表示箇所チェック、周知(不使用時消灯)	○
	納品・外回りの集約化・見直し	納品先等への配車・順番等、都度打合せ	○
	運転時の急ブレーキ・急発進防止	車両等への表示チェック、周知	○
	停車時のアイドルストップ	車内等への表示チェック、周知 外注等への周知	○
	※ 方針展開計画による		方針展開計画書
	<水資源投入量削減>		
	上水道・井水の使用量削減	水場の節水表示チェック、周知	○
	<化学物質使用量削減>		
	灯油使用量の削減	暖房器具のフィルター清掃・温度管理の徹底	○
	<グリーン購入・製品サービス>		
	顧客クレーム0件	品質の各チーム目標に準ずる	方針展開計画書

評価	工程内不良率は0.291%で目標未達(361件/目標324件)。新人作業員による不良発生に対し、図面勉強会やバリ取り講習で教育を実施。決め事チェックシートを活用し、役付き巡回で確認・指導を継続。自己評価は年平均99.1%と高水準で、評価差異には適切な指導を実施。品質向上への取り組みは継続的に行われた。
次年度の取組内容	決め事の読み合わせを通じて安全意識の共有を図り、役付者が「三現主義」に基づいて現場での声掛けや状況確認を行うほか、決め事チェックシートを活用して作業手順やルール遵守の巡回確認を継続し、各自が自己採点による振り返りを行うことで、主体的な改善活動を推進します。

食品部

2024	年度活動内容/目標	具体的施策・維持活動	実施状況
	<廃棄物排出量削減>		
	ゴミ分別の徹底	ミーティング等での周知	○
	紙の使用量削減	コピー用紙の両面使用	○
	二次加工品の試作・商品化	惣菜アイテムの種類を増やす	○
	<CO ₂ 排出量削減>		
	冷暖房の温度設定管理	暖房22℃(室温基準で管理)	○
	休憩・不使用時の照明消灯	節電表示・周知	○
	運転時の急ブレーキ・急発進防止	車両等への表示・周知	○
	停車時のアイドルストップ	車両等への表示・周知	○
	※ 方針展開計画による		方針展開計画書
	<水資源投入量削減>		
	上水道・井水の使用量削減	節水表示・周知	○
	<化学物質使用量削減>		
	灯油使用量の削減	暖房器具のフィルター清掃・温度管理の徹底	○
	<グリーン購入・製品サービス>		
	製造工程改善による電気使用量削減	改善可能なアイテムの策定と工程の見直し	○
	<水資源投入量削減>		
	上水道・井水の使用量削減	節水表示・周知	○
	<食品廃棄物再生利用等実施率>※食品部のみ		
	おから返品商品の肥料・飼料化		○
	乾燥おからの生成		○
	二次加工品の試作・商品化	惣菜アイテムの種類を増やす	○
	<化学物質使用量削減>		
	灯油使用量の削減	ボイラー稼働時間の管理・暖房の温度調整	○
	<グリーン購入・製品サービス>		
	県内産原料商品の販促		△

評価	移動販売においては販売ルートおよび勤務時間の見直しを実施し、その結果、朝の準備時間を短縮するとともに、販売車両の待機運転時間の削減を達成。ペーパーレス化の取り組みとして、惣菜部門および社食部門における材料発注をメール方式へ移行し、業務の効率化を進めました。
次年度の取組内容	ショップにおける定期イベントの開催や、声掛け・試食など接客強化の改善。ECサイトの見直しとSNSを活用した商品PRを強化し、ブランド価値の向上と地域社会への貢献。移動販売ルートや卸販売の配達ルート効率化するとともに、企業・団体・飲食店など新規顧客の開拓。加えて、製造工程の効率化と原価の見直しを行い、収益性と生産性の向上を図る。

8. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反・訴訟の有無

環境関連法規遵守状況結果

法律条例名	該当要求事項	条 項 (法律・規則・施行令)	対象品・施設	対応事項	遵守状況	
					評価基準	判定
水質汚濁防止法	・特定施設は設置、変更前に届出 ・廃液の公共用水域への排出又は地下への浸透状況の把握。	法 5,6,7 条 法 14 の 4	豆腐製造施設 パレ研磨施設 油・廃液貯蔵所 ドレン(コンプレッサー・エアコン)	上伊那地方事務所へ特定施設の届出 ドレン受け設置 ドラム缶受け設置	届出書 現場確認	○
下水道法	・特定施設は設置、変更前に届出 ・水質の測定義務等 ・排除基準	法 12 の 3 宮田村条例 宮田村条例	豆腐製造施設 パレ研磨施設	上伊那地方事務所へ特定施設の届出 年 1 回の水質検査実施	届出書 検査結果	○
騒音規制法	・特定施設は設置、変更前に届出 ・村の改善勧告、命令の遵守 他	宮田村条例	設備一覧 (環境マニュアル参照)	宮田村は特定施設の届出不要 (宮田村住民福祉課に確認済)	宮田村役場	○
振動規制法	・特定施設は設置、変更前に届出 ・村の改善勧告、命令の遵守 他	宮田村条例	設備一覧 (環境マニュアル参照)	宮田村は特定施設の届出不要 (宮田村住民福祉課に確認済)	宮田村役場	○
廃棄物処理法	・廃棄物置場の保管基準の遵守 ・廃棄物処理業者との産廃物委託契約締結 ・産廃物マニフェストの交付、回収、保管 ・発行したマニフェストの報告 ・特別管理産業廃棄物管理責任者の選任	法 12 条 2 法 12 条 5,6,7 法 12 条 3 法 12 条 3,7 法 12 条 2,8	コミステーション 廃液貯蔵所	廃棄物置場の掲示及び管理 産廃物の処理委託及びマニフェスト管理 地方事務所への報告書提出 (毎年 6 月 30 日まで) 特別管理産業廃棄物管理責任者の配置	現場確認 マニフェスト 報告書 現場確認・資格要件	○
食品リサイクル法	・食品廃棄物等の発生の抑制 ・発生した廃棄物の再生利用	法 4 条	大豆製品全般	おからの再生利用 不良品の別製品への利用	現場確認	○
消防法	・危険物の貯蔵所、取扱所の届出 ・危険物取扱者の監督下における取扱 他 ・指定数量未満の届出	法 10・11 条 法 14 条 法 9 条	可燃物・有機溶剤・化学物質等一覧 別紙	一般取扱所届出 乙種危険物取扱者の配置 第四類第一石油類 150ℓ 届出済 第二石油類 2000ℓ 以上は届出済	届出書	○
フロン排出抑制法	・第一種フロン回収業者への委託 ・委託確認書(又は回収依頼書)を交付し 3 年間保存 また、引取証明書の交付を受けた時も 3 年間保存 ・第 1 種特定設備の定期的な点検の実施	法 41 条 法 43 条 法 16 条	フロン使用設備等一覧 別紙 (エアコン・コンプレッサー)	フロン類の廃棄は、第 1 種フロン回収業者に 引き渡す 委託確認書の管理 定期(年 1 回)・簡易点検(年 3 回)の実施	委託確認書 点検報告書	○
労働安全衛生法 (有機溶剤中毒予防規則)	・有機溶剤取扱場所での掲示 ・有機溶剤取扱い作業主任の選任	法 24 条 法 19 条	可燃物・有機溶剤・化学物質等一覧 別紙	有機溶剤使用についての注意事項の掲示 作業主任者資格者配置	現場確認 資格者証	○
PRTR 法	・指定化学物質の排出及び移動量の把握及び届出	法 5 条	可燃物・有機溶剤・化学物質等一覧 別紙	使用量の集計。指定数量以下届出不要 作業員への取扱教育の実施・SDS の保管	集計実績 教育訓練記録・SDS	○
高圧ガス保安法	・300 m ³ (液化ガス 3 t)以上の高圧ガス貯蔵所で第一種貯蔵所以外の届出 ・定期自主検査の実施	法 17 条の 2 法 35 条	高圧ガス等保管量一覧 別紙	指定量以上の保管なし 作業員への保安教育の実施 納入業者による年 2 回の検査実施	現場確認 教育訓練記録 検査実施記録	○
工場立地法	・敷地面積 9,000 m ² 、又は建築面積の合計 3,000 m ² 以上であれば、「特定工場」として届出	法 6,11 条	東工場 1	上伊那地方事務所への届出済み	届出書	○
容器包装リサイクル法	・容器包装多量利用事業者の定期報告	法 7 条の 6	宮田とうふ工房	日本容器リサイクル協会への再商品化委託申込	申込書	○
プラスチック資源循環法	・容器包装プラスチックの軽量化・代替素材利用等の努力義務 ・プラスチック廃棄物の分別・適正処理義務 ・使い捨てプラスチック提供の削減努力義務(試食スプーン等)	法 7,8 条 法 11 条 法 15,16 条	宮田とうふ工房	豆腐パックは軽量化容器を検討 廃プラは産廃業者へ分別処理依頼	努力義務	○

評価 : ○・・・ 遵守されている ×・・・ 遵守されていない (是正・予防処置報告書にて解決する)

環境管理責任者評価	2025 年 9 月 17 日	
2025 年 9 月 5 日の EA21 更新審査時による指摘事項の修正を実施		

環境関連法規への違反はありません。
過去 3 年間及び 4 ヶ月の活動期間中、監督機関からの違反等の指摘はありません。
近隣からの苦情もありません。

9. 代表者による全体評価と見直しの結果

実施日：2025年7月27日

確認項目	報告内容(環境管理責任者)	評価	
環境目標達成状況	<p>◇環境目標の進捗状況 7項目の環境目標については、すべて未達成となった。ただし、二酸化炭素排出量の総量および電力使用量については減少が確認されており、再生可能エネルギー活用の効果が一定程度現れている。一方で、計画に基づく活動は実施されているものの、期待される成果には至っていない状況。今後は改善活動を継続するとともに、目標達成に向けた取り組みを一層強化していく方針。</p> <p>◇再生可能エネルギーの活用成果 東第一工場:年間合計 100,608kWh の太陽光発電を達成 東第三工場:年間合計 230,350kWh の自家消費型発電を達成 これらの成果により、再生可能エネルギー源を有効に活用し、環境負荷の低減に貢献することができた。</p>	<p>7項目の環境目標についてすべてが未達と言う結果となりました。それぞれの項目に対して活動は定着化され活動は出来ていると評価しています。しかし、昨年度は想定外の減産となり前年比約9%の売上減の影響が大きく未達となりました。昨季の目標設定値の妥当性や、活動に対しての振り返りを行い、今後の活動に対しての目標設定を行い活動願います。</p> <p>太陽光発電に関しては、順調にCO2削減の成果が出ていることが確認でき安心しました。</p>	
環境内部監査	法規制遵守状況	環境内部監査実施結果参照	法規制の順守に関して問題がないことを確認しました。引き続き最新の情報を入手しながら法規制を遵守をすること、新たな法規制にも対処できるように進めて下さい。
	活動計画実施状況	環境内部監査実施結果参照	活動計画に対してPDCAが回されしっかりと活動がされていることが確認できました。
	その他	環境内部監査実施結果参照	EA21の活動が形骸化されることが無いように、継続的な活動をお願いします。
是正・予防処置結果	環境委員会を中心に、定期的に委員会を開催し、是正・予防に努めている。	是正・予防処置について、継続して対応をお願いします。	
外部からの苦情とその処理結果	特に苦情はなし。取引先からの要望等については、79件あり。品質保証課にて対応済み。(別紙受付台帳参照)	特に苦情は無いと言うことですが、取引先からの品質に対しての要望は79件あります。どれも確実な対応はされていますが、一昨年より多い件数となっています。次年度は件数も削減されるように取り組んでください。	
自社に関わる法規制の動向	特に自社に於ける法規制に違反はなし。	最新情報を入手しながら引き続き継続をお願いします。	
環境活動に対する改善提案	二酸化炭素排出量削減に関しては、顧客からの要求に応えるため、SBT認定基準に準拠した削減目標を設定し、現状の省エネポテンシャルを確認した上で、実行性の高い削減策をロードマップに落とし込み、省エネによる最大限の削減を実施しつつ、賄いきれない分は再生可能エネルギーの最適な調達時期・手段を検討することで、無駄な投資を避け効率的かつ着実な削減を実現する。	・CO2排出量の削減につきましては、会社としてSBT認定基準を満たすように活動が始まります。具体的な削減活動がロードマップに落とされますので、生産活動の中で排出量の削減効果を出せるように取り組みをお願いします。	
客先からの情報・要求	継続的に環境関連物質や調査について各メーカー様より連絡あり。処理に関しては適正に行った。	各要求に対して適切に対応したことが確認できました。	

確認項目	必要・不要	改善が必要な場合の理由	改善時期	
改善の必要性	環境方針	必要 <input checked="" type="radio"/> 不要	特に必要なし	年 月
	環境目標	<input checked="" type="radio"/> 必要 不要	昨年度の数値を踏まえて目標設定をお願いします。	2025年 4月中
	環境活動の実施体制	必要 <input checked="" type="radio"/> 不要	今期は必要なし。	年 月
	環境活動計画	<input checked="" type="radio"/> 必要 不要	部署ごと昨年の反省を踏まえて計画をお願いします。	2025年 4月中
	環境経営システム	必要 <input checked="" type="radio"/> 不要	特に必要なし	年 月